

令和2年度 ジャパンマイコンカーラリー2021

九州地区大会（WEB上での記録会） 要項

1 趣旨

- ・今年度が最終学年となる生徒にとって、高校で培ってきた技術や知識を確認できる最後の大会であり、その努力の成果を発揮する場を与えるために重要な大会と位置付ける。
- ・今大会は下級生にとって、上級生と共に活動を行う中で上級生の技術や取り組む姿勢を肌で感じ、大会の緊張感を体験することができる機会である。ものづくり技術は、先人たちが築いてきた積み重ねに、新しい技術を加えることにより発展してきた。技術及びものづくり精神を伝承する大会を、コロナ禍で途絶えさせてはいけなと考える。
- ・今年度の大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先課題とし、生徒・教職員および大会関係者が安心して参加できる環境の中で、実施可能な形で行うこととする。

2 目的

マイコンカーラリー競技をとおしてメカトロ技術の基礎・基本の習得、自発的・創造的な学習態度の育成を図るとともに、ものづくりによる課題解決型教育を推進し、新技術への夢を育む。

3 主催 九州地区工業高等学校長協会

4 主管 ジャパンマイコンカーラリー2021 九州地区大会（WEB上での記録会） 運営委員会

5 会場

各県で開催することとする。趣旨のとおり安心して参加できる環境の中で実施することを最優先とする。このことから、複数日での開催や、複数学校での分散開催（開催日は同日でなくても良い）も可とする。

6 開催期間 令和2年9月19日（土）～11月30日（月）の間

7 部門

開催する部門は、Advanced Class、Basic Class、及びCamera Classの3部門に分けて行う。

8 参加資格

各県が参加を認めた者。エントリーは一人一台とし、複数台の登録はできない。

9 コース規格

- ①Camera Class のコース規格は、Advanced Class や Basic Class と同じ規格とする（Camera Class もクロスライン、ハーフラインは有りとする）。
- ②レーンチェンジには、ポールを設置すること。幅は 20mm 以上とする。材質は問わず、固定はしなくとも良い。
- ③上記以外は、ジャパンマイコンカーラリー 2020 全国大会(2019 年度)の競技規則に準ずる。

10 マシン規格

- ①Advanced Class、Basic Class で使用できる電池は単三型二次電池 1.2V とし、すべての電池において単三型 2 次電池記号(「AA(米国内通称)」)、およびリサイクルマークが確認できること。ただし、電池が同一種類と判断できる場合は、その種類の電池が 1 本以上確認できれば良いこととする。
- ②Basic Class でサーボモータの指定部品「ES-539」は、ジャパンマイコンカーラリー 2020 全国大会(2019 年度)までの使用と規則で謳われているため、今大会では使用できない。「令和 3 年度まで使用可」の部品は、今大会で使用できる。
- ③上記以外は、ジャパンマイコンカーラリー 2020 全国大会(2019 年度)の競技規則に準ずる。

※規則掲載ホームページ：<https://www2.himdx.net/mcr/jmcr/2020/main01.html>

11 車検

- ①顧問・選手は、大会前日までに「ジャパンマイコンカーラリー 2021 九州地区大会（WEB 上での記録会） 事前確認票」で自己車検を行い、顧問が確認票に適合していることを証明する署名を行う。大会会場で、車検担当者へ提出する。
- ②試走前に、下記の車検を行うこと。

(1) 各部門の指定部品

- ・Advanced Class：マイコンボード・駆動部のモータ
- ・Basic Class：マイコンボード・マイコンボード以外の基板・サーボ・
駆動部のモータ
- ・Camera Class：マイコンボード・マイコンボード以外の基板・サーボ・
駆動部のモータ・カメラ・タイヤ・電池ボックス・トグルスイッチ

(2) タイヤ幅検査

(3) タイヤ粘性検査

(4) 電池検査

- ③走行直前に、下記の検査を行うこと。

(1) タイヤ幅検査

(2) タイヤ粘性検査

(3) 電池検査

- ④上記以外の車検は、各県に一任する。

※車体車高検査の実施の有無は、各県に一任する。

理由：例年、九州地区大会で使用している日立ドキュメントソリューションズ所有の

車体車高検査装置（同等品含む）を所持している県と、無い県があり、公平性を保つことができないため。ただし、コースを傷つけた場合は記録無しとなるので注意すること。

1.2 競技方法

- ①別紙のコースレイアウトを使用しタイムを記録する。クロスラインとクランクとの距離、ハーフラインとレーンチェンジとの距離、クロスラインとハーフラインの幅、スタートバーの位置は指定する。
- ②走行タイムを記録するセンサーの種類やスタートバーの開閉機構などは、(株)日立ドキュメントソリューションズが所有するタイマーか、競技規則に定められている内容で製作されたものとする。
- ③IN側スタートバー、OUT側スタートバーから、それぞれ各1回スタートさせタイムを記録し、ベストタイムを記録とする。同タイムの選手がいる場合は、もう一方の記録で比較する。同一の場合は、同順位とする。完走できなかった場合の記録は、走り出し脱輪した場合は700秒、スタートバーにセットしたがスタートバーが開いてもスタートしなかった場合は800秒、セットできなかった場合(棄権など)は900秒とする。

1.3 記録の提出先

記録については各県主管校が認定したものを、令和2年12月4日(金)までに各県主管校が一括して運営委員会へ提出する。提出書式は、事前に各県主管校へメールにて送付する。※記録を見返せるように動画撮影しておくことが望ましいが、必須ではない。

※提出先

宮崎県立佐土原高等学校内

ジャパンマイコンカーラリー2021 九州地区大会 (WEB上での記録会) 運営委員会

〒880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町下田島21567

T E L : 0985-73-5657

E-mail: shimazu-haruo@miyazaki-c.ed.jp

担 当: 島津 春夫

1.4 表彰

各県から送られてきた記録を Advanced Class、Basic Class、Camera Class の部門ごとに順位付けし、表彰する。

- ①Advanced Class : 第1位～第8位に賞状を授与する。
- ②Basic Class : 第1位～第3位に賞状を授与する。
- ③Camera Class : 第1位～第3位に賞状を授与する。
- ④全部門 : 完走者には完走を証明する、完走証を授与する。

1.5 その他

- ①本要項は、予告なく改訂されることがある。
- ②試走時間については各県に一任する。
- ③指導教職員は、大会当日の選手の健康状態を表などに記載し把握すること。書式は、各県・各学校のものを使用する。もし無い場合は、別紙健康確認表を参考にしてください。
- ④下記ホームページに要項、コースレイアウトなどの情報を掲載しています。

<http://www.miyazaki-c.ed.jp/sadowara-th/mcr/>